

式 辞

山々にはまだ雪が残り、今年の冬の厳しい寒さを物語っていますが、日に日に陽ざしの暖かさが増し、木々の芽吹きと共に春の訪れが近いことを知らせています。本日、多くのご来賓のみなさまのご臨席を賜り、盛大に平成二十五年度卒業式をとりおこなうことができますことを心から感謝いたします。

さきほど卒業証書を受けとった小学部四名、中学部三名、そして高等部十三名のみなさん、卒業おめでとうございます。小学部の六年間、中学部、高等部のそれぞれ三年間で大きく成長したみなさんに頼もしさを感じています。小学部のみなさんは4年生への進級を、中学部、高等部のみなさんは入学をそれぞれ控え、希望をふくらませていたときに東日本大震災を経験することとなりました。準備が十分そろわない中で始まった新年度、そしてその後の三年間を復興の歩みと共に学校生活を送ってきました。みなさんの力がひとつとなって学校の活動が動き出し、そして今の日常があります。みなさんの日々の努力の積み重ねがあつてのことと強く感じています。

みなさんは仲間の大切さ、やればできるという希望をもつことの大切さを今実感していることと思います。学習発表会のステージで見せてくれた表現力、いろいろな作品に表れた光る個性は多くの人たちの心に残っています。進学する中学部、高等部で、巣立つ社会で今まで培った力を思う存分発揮してください。そして多くの人と仲間の輪を作ってください。みなさんの力で地域の復興を支えてください。

小学部を卒業するみなさん。

自分らしく、いろんなことに挑戦したみなさんは、とてもたくましくなりました。修学旅行や校外学習、水泳教室、そり教室と多くの体験もしてきました。晴れやかな顔で中学部での学習に取り組み、できること、得意なことを増やしてください。

中学部を卒業するみなさん。

作業にむかう姿勢はとてもきびきびとしていました。校内実習、中学校との交流学习、水泳教室に修学旅行と、体験を重ねただけけ自信に満ちた堂々とした表情になってきました。高等部で自分を磨き、社会人への道のりをしっかりと歩んでください

しゃくなげ分教室中学部を卒業するみなさん。

ベッドサイドでの授業から教室でのみんなと一緒にの授業に参加、さらに校外学習へと経験が広がりました。高等部ではどんな経験が積めるのかとても楽しみです。

そして、高等部を卒業するみなさん。

みなさんは社会人としての第一歩をいよいよ踏み出します。自分の夢を叶えようとがん

ばった日々の授業や現場実習で得た仕事への自信と自覚を持って、社会人としてこれからの人生を豊かに歩いていってください。そして修学旅行、トライスポーツなど思い出深いことがらを胸に刻み、前に進んでください。卒業した後も、これまでの学校生活がみなさんの心の拠り所となれればと願っています。

最後に、分教室高等部を卒業するみなさん。

窓から季節の移り変わりをみながら、時に音楽、時に運動、そして創作活動と学習していた姿が目に見えます。校外学習や修学旅行での楽しいひとときはみなさんの心に強く残ったことでしょう。卒業しても病棟での多くのみなさんとのふれあいを大切に過ごしてください。

ご列席いただきました保護者の皆様、卒業を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。卒業を迎えられるまでの多くのご労苦、特にこの三年間のご労苦を思うとき、皆様の限りない愛情に敬意を表すとともに、これまで本校に寄せていただきましたご支援ご協力に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

終わりに、ご来賓の方々はじめたくさんの皆様からお寄せいただきました数多くのご厚情に対し、心より感謝申し上げます、式辞といたします。

平成二十六年三月十九日

岩手県立釜石祥雲支援学校

校長 福田隆彦